

神奈川県議会 一般質問

日付：令和2年9月17日

1. 中小企業の海外販路拡大に向けた越境E C導入等の支援について（産業労働局・知事答弁）

新型コロナウイルス感染症の影響でインバウンド消費に支えられてきた小売店等が困窮している状況を踏まえ、本県における中小企業の海外販路拡大に係る支援をどのように展開していくと考えているのか。また、特に、Amazon や楽天のような越境E Cサイト、つまりインターネット上でモノやサービスを売買するシステムなどデジタルを活用した取組についても、支援策を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

2. 教育現場における授業の動画アーカイブ化について（教育局・教育長答弁）

コロナ禍で教育現場のICT化を進めるという点では一定の成果が得られたと思いますが、今後も大きな自然災害や新型コロナウイルスによって生徒が学校で授業を受けられないケースが出てくるかもしれません。そこで、県立高校において、日頃から授業動画のアーカイブ化を行い、有事の際の代替授業やテスト前の復習、欠席した際の遅れを取り戻すようなことに活用すべきだと考えますが、見解を伺いたい。

3. 県立高校におけるVR/A R技術を活用した教育活動について（教育局・教育監答弁）

現在、県立高校では、オンライン環境の整備を進めており、全ての県立高校でBYODが整備されておりますが、今後は教育と親和性の高いとされているVRやAR等の最新技術を更に活用し、より効果的で意義のある授業をしていくべきだと考えます。そこで、今後の県立高校の教育活動におけるVR/A Rの活用について、見解を伺いたい。

4. テクノロジーを活用したスポーツの新たな取組について（スポーツ局・知事答弁）

近年、国の「スポーツ・オープン・イノベーション・プラットフォーム」などにおいても、スポーツ市場拡大のためにテクノロジーとスポーツの関わりについて深く議論が展開されています。新型コロナウイルス感染症の影響で、スポーツを「する」「見る」「支える」ことに大きな制限が出てくるようになった今、本県のスポーツ推進を図るためにも、テクノロジーを活用した取組などについて、どのように進めていこうと考えているのか、見解を伺いたい。

5. AI防災の積極的な導入について（くらし安全防災局・知事答弁）

近年、防災・減災対策として「AI・人工知能」を活用しようとする動きが増えています。自然災害が発生した際に、被害状況の分析や情報収集などを担うAIがあれば、本県の災害対応力は格段に向上するはずだと考えます。そこで、県としてAI防災の導入について今後どのように取り組んでいくのか、見解を伺いたい。

6. 災害時における活用を踏まえた電動車の普及について（産業労働局・知事答弁）

県として、電気自動車などの電動車の導入促進に当たっては、災害時において有用であることをしっかりと周知しながら普及に努める必要があると考えるが、見解を伺いたい。

7. 金融リテラシーを身に付ける取組について（くらし安全防災局・知事答弁）

投資や資産運用に関する消費者トラブル等から身を守るとともに、企業のイノベーションを促す健全な投資にも繋がる「金融リテラシー」を多くの県民が身に付け、活力ある神奈川を実現していく必要があります。そこで、県は、年齢を問わず、広く門戸を開いて誰もが安心して「金融リテラシー」を高められる機会を提供していくべきと考えるが、見解を伺いたい。